

福島敏夫の論説 1

(2019 年を振り返って) (その 1)

平成 31 年から令和元年に年号が変わり、新しい時代の始まりを感じさせることもありましたが、今年も、喜怒哀楽いろいろなことがありました。

先ず、地震、火事、風・水害、停電、土砂災害などの想定外の天変地異の自然災害・人災が、多発しました。亡くなられた方々の心からのご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様のお見舞いと、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

他方、外では、民族的紛争、宗教的争い、内戦・テロ、世界の覇権をめぐる争い、内では、いろいろな殺りく事件、学校・家庭・会社内等でのいじめ問題、政治的な黒い霧および不透明問題、企業等のイメージを損なうデータの漏洩・消失問題、芸能界・スポーツ界等でのセクハラ・パワハラおよび薬物事件、科学技術等の信頼性を喪失させる研究不正事件など、悲しく、暗い話もありました。昭和・平成時代を支えた名人・偉人・面白人が、長い二度と帰らぬ旅路に赴きました。また、長年親しみ、世話にもなった先輩、知人、友人、後輩、世界的に有名な偉人に近い人等の訃報も続出し、悲しみに、襲われることもありました。温暖化の是非と対策をめぐる問題、大気・水質・土壌汚染、廃棄物問題、野生生物の激減と有害生物の広域移動など、人類の長年の諸活動による地球的な規模での問題が、人類ばかりでなく、生物全体の存続をも危うくする危険性も認識されるようになりました。可能な限り、的確な防災・減災対策や実効的な対応策を考える英知が必要であることが認識させられました。また、改めて、頂いた命を大切に、天命を全うすることの重要性も、考えさせられました。

ですが、象徴天皇・皇后の速やかな交代、文化界・スポーツ界でのいろいろな快挙、科学界でのすばらしい発見や創造、実業界での新しいイノベーション（人工知能、ビッグデータ、ロボット、IOT、可視化など）により、今後に向けての明るい話題もありました。オリンピック・パラリンピックの開催が近づく中で、欧米文化もすばらしいけど、花鳥風月やわび・さび等に関する感受性等に根差す、日本文化のすばらしさも見直されるようになりました。人と生物と自然との共存・共栄と宇宙船地球号の大切さ、世界遺産の保存と存続と世代的継承、地域・地方社会の再生と活性化に向けての動きなど、夢と希望と情熱と感性と努力と継続を感じさせる話も結構多かったと思います。

私自身は、ぶり返す腰痛・肩痛や新たに見舞われた動脈硬化や神経性障害による足・手の痛みや機能低下などの体の不具合に悩まされながらも、リハビリテーションに励みました。血行不良等による右足の不具合による歩行困難で、車いす対応での活動を余儀なくされながらも、花鳥風月を愛でながら、研究活動を続け、いろいろな人々に助けられて、予定していた 3 つの学会（マテリアルライフ学会、日本建築学会、日本建築仕上学会）での研究発表を無事終えることもできました。受賞（マテリアルライフ学会 30 周年功労賞）

とともに、無事3つの研究発表を終えられたことは、大きな喜びとなりました。

今年も、後10日余りを残すだけですが、良い年末を祈願するとともに、今年の皆様のご厚情に感謝したいと思います。

(2019年を振り返って) (その2)

激動の2019年も、まもなく、終わろうとしています。

忘れていたかも知れませんが、劣化と寿命について、考えさせられることも、多かったようです。

材料・部材等の劣化は、外部環境等による性能・機能の変化として、社会的インフラや建築物の損傷やその資産価値の低下や不測の事故、および世界遺産の存続にも影響を与え、寿命を早めることもわかってきました。また、自然災害や人災の際の危険度を高めることにもなります。気候・風土の影響もありますが、地球環境の変化も、紫外線や二酸化炭素等による劣化や風・水害等の自然災害の増大にも連なることもあるようです。長期的な実効的な対応策とともに、短期的・中期的な防災・減災対策を考えることも、重要なようです。寿命にも、材料・部材の寿命、動・植物の寿命、人間の寿命、人工建造物の寿命、文明の利器や製品の寿命、地球の寿命、宇宙の寿命など、いろいろあるようです。劣化現象がどのように起こるか、メカニズムの研究例は、多いけれども、それをわかり易く“見える”ようにする(「可視化」)とともに、寿命と結びつける話は、世界中でも誰も考えなかったようです。最近、ようやくその意味が理解されるようになってきたらしい。気象や地震や火山の噴火の予知と同じように、いかに寿命予測が難しいかが、実感されました。それでも、少しでも、実効性向上と精緻化を目指したいし、また、目指してもらいたいものです。

他方、私事で、申し訳ありません。

お医者さん、看護師さん、老妻等に助けられ、年末には、敗血症に進む恐れがあった、足の血行不良とばい菌の侵入による皮膚潰瘍や鬱血・壊死の危機的状況から脱して、ようやく徐々に快方に転じ、来年の春までには、二足歩行が可能になるまでに回復する見込みができ、夢と希望が湧いてきました。

今後も、リハビリテーションに励んで、知力・体力・学力の回復とともに、生命力の回復を図り、やり残した話の実現を図りたいと思います。また、来年には、中断していた諸学・協会の総会や同窓会等の諸会合への復帰を目指し、また、諸学・協会での研究発表と新たな特許出願の準備を行いたいと思います。数独パズル、クロスワードパズル、応用数学などを楽しんでいるので、頭の働きは、残っていたらしいです。ですが、インターネットを利用した囲碁、麻雀は、まるでダメ。よほど才能がないようです。しかし、懲りずに続ける積りです。

また、振り返りますと、Facebookで、昔、国際会議等を通じて訪れた、世界各国(フィ

ンランド、スウェーデン、オーストラリア、カナダ、フランス、ドイツ、アメリカ、シンガポール、中国、インドなど）の素晴らしい風景や美しい街並みや庭園の映像、あるいは、山・川・海の絶景や、動・植物の生き生きとした生態、美しい虹や星の映像、日本の桜の花や紅葉等に代表される四季の移り変わりの映像、神社・仏閣・花園のライトアップの映像が提供され、楽しむことができました。最近では、世界各国の世界的な建築家の名建築のデザインばかりでなく、無名の建築家等によるインテリア・デザインについても、映像および活字による情報を提供してもらえ、新たな感覚を養うこともできました。また、橋やダム、上水道等の土木遺産の映像や活字による情報も提供して頂き、社会的インフラの実態にも触れることができました。また、Youtube を通じて、いろいろな諸国の民謡（スペイン民謡、ドイツ民謡、ロシア民謡、ネパール民謡、ペルー民謡、インドネシア民謡、中国民謡、日本民謡など）、フランスおよび日本のシャンソン（パリの空の下で、雪が降る、夜明けの歌など）、日本の懐かしの歌謡曲（青い山脈、有楽町で逢いましょう、喝采、ブルーライト横浜、乾杯、いい日旅立ち、川の流れのようになど）、東日本地震等からの復興支援ソング（スタンド・アロン、花は咲くなど）や、クラシック音楽（美しき青きドナウ、G線上のアリア、別れの曲、新世界「家路」など）、世界のヒットメロディー（虹の彼方に、百万本のバラ、禁じられた遊び、南国の夜など）を、楽しむことができました。Facebook のソーシャル・ネットワーク（SNS）で、いろいろな人、サークル、同好会、企画と繋がり、いろいろな情報発信および情報交換等を持つこともできました。有り難うございました。

また、電子メールや郵便、電話等を通じて、昔からの友人、知人、親族、仕事関連の人々等とのやり取りにより、貴重な情報交換ができました。ありがとうございました。

いろいろな自然とのかかわり、人等のつながりの中で、今年も、間もなく暮れようとしています。寒さが、厳しくなる折柄、また、想定外の天変地異も多くなると考えられますので、皆様、ご自愛ください。来年も元気にやりましょう。皆さま、良いお年をお迎えください。